

訪問リハビリテーションにおける感染予防対策のポイント

	訪問スタッフ	利用者	事業所
利用者宅訪問中	標準予防策（スタンダード・プリコーション）の徹底 ^{*1}	なるべくマスク着用、咳エチケットに努める	
	スリッパ、血圧計、体温計、パルスオキシメーター等備品のアルコール消毒（訪問毎）	部屋の換気をする	
	吸引、呼吸・排痰介助時のゴーグル等の着用	熱中症や脱水に注意する	
	不要な荷物は持ち込まない		
移動中	定期的な消毒（車のドア・ハンドル・キー、自転車のハンドル・キーなど）		
	公共交通機関を利用する際はマスク着用		
	外部トイレ使用時に感染予防に留意する（ふたを閉めて流す、触れるところを最小限に、手洗いをしっかりと行う）		
事業所内	マスク着用		定期的な換気
	飲食時に他者と距離をあける		同じ向きで、間隔を空けたデスク配置
	スタッフ間の会話や電話対応はなるべく他者と距離を空けて行う		電話、キーボード、マウス、ドアノブ、デスク等の定期消毒
			会議等はなるべく短時間で行い、リモートなども活用する

* 1：標準予防策：スタンダード・プリコーション 厚生労働省感染対策の基礎知識1 <https://www.mhlw.go.jp/content/000501120.pdf>